

平成29年度「核酸を標的とした低分子創薬研究会」開催報告書

平成30年2月20日

平成29年度は下記の通り研究会を4回開催した。また、第4回は臨時受講会員を別途募集した。開催概要は以下の通り。研究会の後、懇親会を開催し講師ならびに会員間の親睦を深めるとともに、情報交換の機会を持った。

第一回 6月15日 午後2時～ 参加者 20名

1) 記念講演 株式会社 Veritas In Silico 代表取締役 中村 慎吾 様

「RNAを狙った低分子創薬：その過去の軌跡から未来への展望」

2) 大阪大学産業科学研究所 教授 中谷 和彦

「核酸に結合する低分子創成研究：中谷研の取り組みから」

概要：中村様からRNA標的低分子創薬の展望についての記念講演の後、中谷から核酸と低分子の相互作用についての基礎についての講演があった。

第2回 8月8日 午後3時～ 参加者 22名

1) 京都大学理学研究科 教授 杉山 弘 先生

「核酸を中心とするケミカルバイオロジー：DNAオリガミと遺伝子スイッチ」

概要：核酸認識低分子の設計原理と創成、その利用について、遺伝子スイッチとDNAオリガミを用いた研究プラットフォームを例に紹介、説明された。

第3回 10月12日 午後3時～ 参加者 20名

1) 横浜国立大学 教授 児嶋長次郎 先生

「核酸構造に基づくNMR創薬：DNA薬剤複合体構造と19Fスクリーニング」

概要：NMRを用いた核酸と低分子相互作用の複合体構造について、中谷との共同研究例の説明の後、19F核を活用したスクリーニングについて紹介があった。

第4回 12月15日 午後2時～ 参加者 40名（臨時会員他を含む）

1) 米国スクリップス研究所 Matthew David Disney 博士

「Sequence-based rational design of precise small molecules targeting RNA」

概要：RNA標的低分子創薬の第一人者Disney博士を迎え、博士が開発してきた核酸標的低分子スクリーニングツールInfoRNAを始めとする最新の研究が紹介された。約3時間の熱のこもった講義・講演に参加者が引き込まれた。